

令和5年度 おらほのまちづくり支援事業 実施事業一覧

No.	区分	事業名	団体名	代表者名	交付額(円)	事業概要	成果
1	全町的	農業体験受入態勢整備事業	入谷の里山活性化協議会	会長 阿部 國博	500,000	農泊や体験学習の受入者の高齢化、若手人材を巻き込んだ受け入れ体制づくり、魅力的な里山での体験や食事、滞在空間の提供が充実していないことなどの課題に対し、里山の様々な体験プログラムを造成・発展させ、教育旅行や体験学習などの受け入れを促進していく。 ・収穫体験をセットにした食の体験イベント ・農業体験に係る農場の環境整備	里山の魅力を高めるため、食をメインとする体験イベントを展開し、地域の受入態勢の整備を行うことによって、地域住民の活躍の場の確保、地域コミュニティの活性化につながった。
2	全町的	オクトパス君南三陸町PRプロジェクト	南三陸復興ダコの会	会長 大森 丈広	500,000	オクトパス君南三陸PRプロジェクト ①町内外の各種イベントに着ぐるみオクトパス君を積極的に出動させ、町をPRする。 ②オクトパス君目録で、ホームページやSNSを活用し、町の情報を発信する。 ③オンラインによる活動も展開する。	復興のシンボルキャラクター「オクトパス君」を活用し、全国に向け町をアピールし、活力あるまちづくりを展開した。
3	公益活動	子ども木工教室	KITTO (キット)	会長 佐藤 太一	283,000	夏休み子ども木工教室 小学生の夏休み期間において、町内の小学生全学年を対象として木工教室を実施する。 ①学区が異なる児童同士の交流で中間の輪を広げてもらう。 ②建設業者、木材加工業者、その他地域事業者との交流で顔の見える関係を築く。 ③南三陸杉 (FSC認証) に対する町内の認知度をあげる。	町内小学生を対象に南三陸杉を使用した木工教室を開催し、地元産材を知ってもらうきっかけづくり、学区が異なる子どもたちや地域の事業者、親子の交流機会の創出が図られた。
4	総合戦略	地域資源を学ぶ展示とふれあい事業	みなみさんりく発掘ミュージアム	代表 高橋 直哉	1,000,000	南三陸町の資源を活用し遊びと学びの場を提供することで、身近で気付かなかった地域の特色を町民に改めて認知してもらう。また、コロナ禍により遠ざかった観光客を誘致し、南三陸の特色を知ってもらい交流人口の拡大につなげる。南三陸ならではの手法と他の地域にはない魅力と遊びを盛り込んで、地域資源を活用した事業で経済効果を生むことが目的。 ・屋外カブトムシ、クワガタムシふれあいの場開設 ・世界の昆虫展示とふれあいコーナー開設 ・南三陸町の研究紹介コーナー開設 ・化石の展示イベント実施	地域資源の魅力発信を目的に、歌津地区において昆虫のふれあい体験や化石の展示イベントを開催し、地域の子供、保護者への学習機会の創出、観光客誘致につながった。
5	総合戦略	【森里海ひと】地域資源活用の普及啓蒙事業	南三陸を化石で盛り上げる会 Hookes	代表 高橋 直哉	860,000	「森・里・海・ひと」南三陸町の様々な資源を活用した、町内に向けた普及啓蒙の活動を通じ、①町民が地域資源の必要性と活用方法について考えるきっかけとなる取組み、②南三陸町の強みである観光業での実践に繋げていく事を目的とする活動を実施する。 ・南三陸町内の子供たちのアイデア実現のサポート ・普及啓蒙のためのワークショップや展示会の開催 ・地元向け普及啓蒙のための体験ツアー開催 ・シンポジウム開催	化石をはじめ様々な地域資源を活用しながら、子どもから大人まで様々な世代間の交流、町内での体験ツアーを開催し、地域の可能性や魅力の再発見、産業の活性化につながった。
6	全町的	第2回南三陸スポーツフェスティバル	南三陸スポフェス実行委員会	会長 三浦 洋昭	0	※協賛金及び協賛品が集まったことにより、事業費を団体の資金で全て賄えたため。 松原グランドを活用し、スポーツ交流を通して世代間並びに多様化するコミュニティの活性化を図るもの。当該イベントは、将来的に全町を巻き込んだ「町民運動会」の復活を目指し、プレ開催として現実的なコミュニティから地域を興すため実施する。	スポーツ交流を通じた様々な世代間の交流機会の創出及び地域の活性化につながった。
7	全町的	第1回南三陸かがり火祭り	かがり火祭り実行委員会	代表 山内 正文	1,000,000	震災前に八幡川で開催されていた灯籠流しやかがり火祭りは、地域にとっても懐かしく、また夏の風物詩でもありました。震災から12年、改めて古き良き町の風景を蘇らせ、ふるさとの記憶として未来に継承する催事として成長させていくことを目的に開催するもの。 ・中橋をステージに、郷土芸能を披露する。(行山流水戸辺鹿子踊、大森創作太鼓保存会等を予定) ・道の駅エリアにおいて夜店の運営を行う。(南三陸商工会青年部、観光協会マルシェ部会等) ・ニアガラ花火の実施 ・八幡川沿いの堤防にかがり火を設置する。	子どもから大人まで、また町内外の方が参加できる大規模事業として賑いにつながった。
8	総合戦略	「森・里・川・海」を感じる自然体験活動事業	おきなくらEELs	代表 菅原 由輝	423,000	・南三陸エリアの「森・里・川・海」をテーマとした自然体験活動の実施 ・地域の良さを活かし、伝えていける「次世代リーダー(若手)」の育成 ・屋外フィールド活動の需要増、交流人口及び関係人口拡大に向けたニーズへ対応していくため、「安全管理環境の整備、ガイドのスキルアップ」を目的とした活動、研修を実施 ・みちのく潮風トレイルの活用 ・マリナクティブティ体験の実施 ・海岸清掃やフィールド整備 ・プログラム技術向上・安全管理研修会の実施	南三陸エリアの「森・里・川・海」をテーマとした、みちのく潮風トレイル及びマリナクティブティ体験イベントを開催することで、南三陸の地域資源のPR、交流人口の拡大、次世代リーダーの育成につながった。
9	総合戦略	南三陸町自然史普及推進事業	南三陸ネイチャーセンター友の会	会長 山崎 浩子	1,000,000	南三陸の自然に対する興味を喚起し、自然環境への愛着や理解を深める機会を提供する。 ・南三陸子ども自然史ワークショップ2023 町内外の子どもを対象に、南三陸の自然をテーマに数種類のワークショップを行う。 ・自然史探検隊 町内の子ども達に、故郷の自然に直にふれる体験学習の機会を提供する。 ・南三陸自然史講座 町自然環境活用センター及び町自然史の普及活動。	子どもから大人まで、故郷の自然史への関心を高め、町の魅力を発見する機会を創出するため、ワークショップや講座等を開催し、総合戦略の推進に寄与した。
10	公益活動	林際カーシェア会地域コミュニティ活性化事業	林際カーシェア会	会長 山内 太一	300,000	地域住民が車を利用することによって、住民同士がお互いに助け合う地域づくりを行うことを目的とする。 ①サロン活動(お茶っこ会) ②買い物ツアー活動 ③お出かけツアー(中止※インフルエンザの流行等の影響のため) ④外出支援活動(中止※インフルエンザの流行等の影響のため) ⑤遊休農地を活用し地域内外交流及び農作物等の販売	サロン活動や遊休農地を活用した交流イベントを実施し、コミュニティの活性化や外出機会の創出につながった。また、外出支援活動を実施し、地域交通の利便性につながった。
11	総合戦略	おいしい・楽しい・すこやかな暮らしをこの土地で。いっぱい走れる子どもあそび場 ひころマルシェ 2023	ひころマルシェ実行委員会	代表 中島 綾子	145,000	「この土地でつづく暮らし」をコンセプトにひころの里を会場として、おいしく・楽しく・健やかな暮らしをつくるマルシェの実施。 健康に良い美味しい食べ物、有機農法や減農薬の野菜・果物、天然素材・循環型のモノづくり、体験ワークショップ、癒しの空間、環境に優しい暮らし方の智恵の展示など、町内外から約50店舗の出店予定。 子どもたちがいっぱい走り回れる「子どもあそび場」を併設、授乳室やおむつ替え室も完備し、子育て世代も安心して参加できるイベントとする。	中止 ※雨天のため
12	公益活動	南三陸椿ものがたり 2023	南三陸椿くらぶ	代表 工藤 真弓	100,000	2011年10月から新たな町づくりの一環として、町震災復興祈念公園を始め、町内において椿の植樹を継続的に実施している。 今回は、これまでの椿の育樹、伝承活動の維持継承に加え、次世代の参加を促す取り組みを実施することによって、さらなる防災力と郷土愛を広げてゆく場の創出を目的とする。 ・町内に植樹した椿の育樹活動 ・南三陸町震災復興祈念公園での防災ワークショップ ・椿の紙芝居活動	椿の育樹活動、震災伝承活動を展開することで、町民同士の交流の場となり、次世代の防災意識の向上につながった。
13	全町的	庄内町住民との漁業体験交流事業	南三陸町歌津海山大地交流推進協議会	会長 三浦 光喜	77,000	歌津地区の人的・物的資源を活用しながら、山形県庄内町住民との漁業体験及び交流事業を実施することにより、これまでの感謝とさらなる絆を強め、復興の原動力として、地域の活性化と一体感を醸成し交流人口の増大を図る。 ・庄内町国際交流協会漁法体験交流事業	友好町である庄内町の方々と、漁業体験交流事業等を開催し、継続して両町の関係を深めることができた。